

e-Lシステムについて

e-Lとは、生徒の目的や理解度に応じたプリントをその場で印刷し、生徒に鉛筆で書いて解かせるシステムです。

「わかったつもり」を「わかる」「できる」に変えます。

「授業ではわかったつもりでも、テストになると解けない」なんていうことありませんか？ その原因の1つに、演習量の不足が考えられます。授業で習った内容も、その後に問題演習をしなければ定着しません。問題を解いた時間が、そのまま生徒の力になります。

一人ひとりがそれぞれ最適形で学習できるので、問題をどんどん解きながら「つまずき」もしっかり克服できるようになります。繰り返し問題演習する。この『繰り返し』こそ、学力定着の秘訣です。

e-Lの学習の流れ

① ラーニングを印刷

その単元の要点をまとめたラーニング(解説プリント)で内容を確認、例題や練習問題を解きます。

② ステップを印刷

ラーニングで確認したことを理解しているか、ステップで問題を解いていきます。1枚にかかる時間は10分程度なので、集中してどんどん進みます。

③ 提出して判定へ

解いたプリントは先生に提出し採点してもらいます。e-Lに得点を入力すると、いよいよよきどきの判定画面です。

④ 「合格！」さあ次の問題へ

判定画面で合格ラインがクリアできれば次のプリントへ。間違えた問題はラーニング(解説プリント)を参考にしながら、直していきます。「ステップ」で不合格なら「リトライ」で再チャレンジです。

⑤ チェックを印刷

ステップで学習したことを「チェック」最終確認です。「チェック」で満点がとれたらがんばったで賞！「チェック」で不合格なら「リチェック」で再チャレンジです。

